

指定管理者評価シート

事業名	生涯学習センター運営管理費	所管課(電話番号)	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課(211-3871)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市生涯学習センター (札幌市教育センター開放施設を含む)	所在地	西区宮の沢1条1丁目1-10
開設時期	平成12年8月25日	延床面積	12,106㎡
目的	市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する学習機会の提供及び指導者等の人材育成に関すること。 ・生涯学習に関する調査、研究、企画立案及び啓発に関すること。 ・生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関すること。 ・生涯学習に関する事業を行う団体の連携及び交流の支援に関すること。 ・学習成果の発表及び鑑賞の支援に関すること。 ・生涯学習センターの施設を使用に供すること。 ・その他生涯学習センターの設置目的を達成するために必要な事業。 		
主要施設	ホール、講堂、研修室、音楽・演劇スタジオ、メディアプラザ(図書、視聴覚、学習相談コーナー)等		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:当該施設は、札幌市における生涯学習施策を推進していくための総合的な中核施設であり、指定管理者には生涯学習に関する専門的な知識や事業の企画立案に関するノウハウが必要であるとともに、運営管理にあたっては、長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成が必要であることから非公募とした。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸室業務、学習機会提供事業、学習活動支援事業等		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼ 当財団が策定した下記の基本方針に基づき、管理運営を実施した。 ○身近な地域で学びを深める環境づくりの推進 ○快適に利用できる施設環境の整備と利便性向上 ○効率的・効果的な事業運営</p> <p>▼ 学習ニーズを踏まえた市民参画による魅力的な事業を推進した。</p> <p>▼ 有機的なネットワークの形成と学びのコミュニティを創造した。</p> <p>▼ 創意工夫による効率的・効果的な事業運営と施設運営を継続した。</p> <p>▼ 身近な地域で学びを深める環境づくりの推進</p>	<p>・基本方針に基づき、ハード面、ソフト面の両方のアプローチから総合的に管理運営をすることができた。</p> <p>・利用者をはじめ市民からの要望等を踏まえ、学習成果を生かす場を充実させるなど、市民ニーズに応える事業を実施することができた。</p> <p>・コロナ禍において可能な限り事業を実施することができた。</p> <p>・コロナ禍でこれまでに培ったネットワークが途切れないように、コミュニケーションを図りながらネットワークと学びのコミュニティの維持に努めた。</p> <p>・ご近所先生企画講座において、講座後のサークル化を積極的に促し、新たな学びのコミュニティを創出した。</p> <p>・利用者の多種多様な学習活動に適した施設利用方法を提案することや、計画的修繕等を実施することで利用者の利便性向上と安全確保を図ることができた。</p> <p>・従来から実施していた区民センター等のコミュニティ施設に加え、市内の図書館10館でさっぽろ市民カレッジを展開した。</p>	<table border="1" data-bbox="1166 286 1323 315"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・適正な管理運営により、概ね要求水準を達成していると思われる。</p> <p>・身近な地域での学びとは、受講者にとって物理的距離が近い場所を会場とした講座の展開だけでなく、地域課題が複雑化する今日においては、地域ニーズに沿った講座内容も求められるところである。 今後は地域ニーズの把握なども視野に入れた体制の構築・機能強化に取り組んでいただきたい。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▼ 快適に利用できる施設環境の整備と利便性向上</p>	<p>・老朽化した館内の整備を日常的に行なった。 ・利用者のニーズに応えた施設環境の整備や更新を行なった。</p>	
<p>▼ 障がい理由とする差別の解消の推進を行なった。</p>	<p>・館内各所のスロープや手摺りについて日常的な整備を行なった。 ・ホームページの更新にあたってはウェブアクセシビリティに配慮した。</p>	
<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p>		
<p>▼ 貸室の平等利用を図るため、主として抽選による受付を実施した。抽選受付は先着順とし、受付方法についての効率化やわかりやすい説明を心がけた。一斉受付は電話受付や、密集を避けるためホールで実施するなど新型コロナウイルス感染症防止対策に努めた。</p>	<p>・関係条例や規則の遵守に努め、平等利用の原則を確保することができた。</p>	<p>・平等利用は公の施設の運営における要であるため、引き続き、利用者への丁寧な説明を続けながら、平等利用の確保に努めていただきたい。</p>
<p>▼ 講座の受講機会の平等を図るため、受講希望者多数時にはコンピュータによる自動抽選を実施した。</p>		
<p>▼ 多くの市民に情報を提供するため、ホームページや広報誌の発行などの広報活動を行なった。</p>		
<p>▼ 貸出ロッカーについて、広く利用者が平等に利用できるよう、抽選方式を採用した。</p>		
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p>		
<p>▼ 事務用品について、リサイクル商品や、詰め替えて再利用できるものを積極的に使用し、ゴミの軽減に努めた。また、再生紙利用の推進、資源回収によるゴミのリサイクル化など環境配慮に努めた。</p>	<p>・リサイクル品の購入や、ゴミのリサイクル化、冷暖房の節約などに努め、可能な限り環境に配慮するよう努めた。</p>	<p>・引き続き、環境に配慮した取り組みをお願いしたい。</p>
<p>▼ 過剰冷房・暖房を控え、事務室の設定温度の上・下限を定めるとともに、5月～10月はクールビズを実施した。 また、貸室においても、利用者に対して設定温度での空調利用を要請した。</p>		
<p>▼ 利用者に支障が生じない範囲で、館内の照明間引きを増やし、トイレの便座暖房の抑制、使用していない部屋の照明の消灯を徹底するなど、節電に努めた。</p>		
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p>		
<p>▼ 統括管理責任者としてセンター長を配置した。組織体制は、総務・施設管理部門として施設課を、事業部門として事業課を置き、それぞれの責任者として課長を配置した。</p>	<p>業務を迅速かつ正確に行えることを考慮した人員配置を行なった。</p>	<p>・突発的な出来事への対応のためには、連絡系統や指揮命令系統を整えることが重要となる。引き続き、各種シミュレーションを行いながら、迅速な対応ができる組織体制の確立をお願いしたい。</p>
<p>▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。</p>		

<p>▼ 係単位で定期的に会議を行い、様々な問題について協議するとともに、文書やメール等により職員間での情報を共有することで、市民サービスの維持向上に努めた。</p> <p>▼ 人材育成のための研修を実施するとともに、外部研修等に参加した。また、企画立案に関わる職員の研修参加に努めた。(研修会参加一覧参照)</p>		<p>・係単位での情報共有は適切に行われているので、今後は係・課を越えた組織全体での情報・問題の共有を強化し、さらなる円滑な業務の遂行や市民サービスの向上につなげていただきたい。</p> <p>・生涯学習センターは本市の生涯学習推進の中核施設であり、これからも、地域の生涯学習に携わる個人や施設・団体を支援する機能がより一層求められる。</p> <p>この役割を果たすためには、センター職員の資質向上が欠かせないため、社会教育士の称号取得や、そのための社会教育主事講習の受講など、職員が積極的に外部団体等の研修に参加するよう、組織として取り組んでいただきたい。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p>		
<p>▼ グループウェアの運用</p>	<p>・各システム等の適切な運用により、管理水準と利用者の利便性の向上に努めた。</p>	<p>・システムの利用においては、セキュリティ対策を万全に期し、情報資産の取扱いに十分留意することが求められる。</p>
<p>▼ 会計・財務システムの運用</p>		<p>日ごろから運用方法を絶えず確認し、十分なセキュリティレベルが確保できているか適切に判断のうえ、対策を講じていただきたい。</p>
<p>▼ 貸室受付システムの運用</p>		
<p>▼ 事故対応要領に基づき、事故防止、事故発生時における、組織内の役割分担、緊急連絡体制などを整備し、迅速かつ適切な対応を心がけた。</p>	<p>・職員全員が事故防止を心がけ、安全確保を図ることができた。</p> <p>・連絡体制を整備し、各関係団体とも連携を取るよう努めた。</p>	

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼ 貸室利用受付時においても暴力団員または関係事業者を相手方としないよう確認している。

▼ 警備・清掃・施設管理などの委託業務において、日報、月報、報告書により管理状況を確認するとともに、適宜打合せを行い、現状の把握と今後の対応などの情報交換を図り、迅速かつ適正な維持管理に努めた。

・委託業務に係るマニュアルに基づき適正な管理をすることができた。
 ・「札幌市暴力団の排除の推進に関する条例」「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」を遵守し、委託業務等の適正な履行を確保することができた。

・故障、破損等の早期発見や、不審者への対応の協議など、日常的に情報共有が図れることにより、適正に業務を監督することができた。

・第三者への業務委託について、指定管理者制度上、その実施責任はすべて委託者にあることを十分に認識し、適切な指導監督に当たっていただきたい。

また、委託者として説明責任を十分に果たすことのできるよう、正確な情報伝達、委託業務の履行確認を徹底していただきたい。
 ・再委託、再々委託による連絡系統の細分化により、責任の所在や緊急時の対応に遺漏が出るのではないよう、指揮命令系統について日常的に確認を行っていただきたい。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 (8月26日)	委員4名参加 ・令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画 ・当該年度4-7月事業報告 ・当該年度4-7月苦情要望等の整理・分析
第2回 (11月25日)	委員6名参加 ・当該年度8-10月事業報告 ・当該年度8-10月苦情要望等の整理・分析 ・コンピューター研修室の今後の可能性について
第3回 (2月28日)	委員6名参加 新型コロナウイルス感染症拡大対策のため書面にてご意見を集めた。 ・当該年度11-1月事業報告 ・当該年度11-1月苦情要望等の整理・分析 ・管理運営水準の維持向上に向けた協議

<協議会メンバー>

- ・札幌国際大学教授 佐久間章
- ・西のコンサ通り商店会会長 安田敦司
- ・さっぽろ市民カレッジ講師 竹田慎一
- ・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会札幌エルプラザ公共4施設館長 下川原清貴
- ・札幌市教育委員会生涯学習推進課長 村上玄光
- ・札幌市生涯学習センター長 嶋内 明

オンラインを活用した学習機会の提供や学習支援の在り方について協議し、コロナ禍を意識した事業展開についてご意見をいただいた。

貸室の新しい利用者を獲得するための方法について協議し、8月にリニューアルしたコンピューター研修室の活用方法について意見をいただいた。

センターの苦情対応の在り方と若い利用者を増やすための取り組みについて意見交換が行われた。

・有識者を交えた会議は、施設の管理運営上の問題点・改善点、市民サービス・管理水準・新たな事業展開等について協議し、外部の視点からの意見を反映させることが目的である。
 ・事務局はこの点を十分に意識したうえで、会議が形骸化することがないよう、提言された意見をできる限り反映いただくようお願いしたい。

<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。</p> <p>▼ 流動性や利回り等に配慮し、金融機関及び金融商品の安全性に一層留意した対応を行っている。また、資産の健全性確保を図るため、「資産管理運用方針」等を定め、遵守している。</p> <p>▼ 「経理面での不正防止対策について」及び「小口現金取扱要領」に基づき、現金残高、銀行口座、郵便振替口座の確認、領収書の作成及び保管、金券類、小口現金の管理を行い、適正な事務処理の徹底に努めた。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼ 要望・苦情に対しては、利用者ニーズとして記録し、速やかな対応を心がけた。また、毎月届いている要望等を職員で供覧し、情報の共有に努めた。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ 利用者アンケートや各事業の受講者アンケート等によるセルフモニタリングを実施した。利用者アンケート等での要望・意見については、所管局とも連携し適切に対応した。</p> <p>▼ 札幌市の業務財務検査に関しては、記録・帳簿等の適切な整備保管状況など概ね要求水準を達成したかなどについて、自己チェックを行なった。</p>	<p>・所管局による検査及び公認会計士による外部監査の結果、適正に管理しているとの評価を受けることができた。</p> <p>・意見、要望、質問について迅速な回答と対応ができた。</p> <p>・施設に寄せられる意見の中には、回答先が不明なものもあるため、施設としての考え方や対応を利用者に伝えるために、ホームページ上に回答コーナーを設け、できるだけ多くの意見等に対応できるよう取組を進めた。</p> <p>・利用者アンケート等により、利用者の施設利用に関する要望・意見等を把握するとともに、苦情等の整理・分析を行い、その結果を運営協議会に報告した。そこでの協議結果を踏まえ、利用者目線に立った迅速な対応を心がけた。</p> <p>・利用団体が増えた陶芸室について、所管局に相談のうえ運用を緩和し、より多くの団体が利用できるようにしたり、交流学習コーナーの座席を段階的に増やすなどし、利用者の利便性を高めた。</p>	<p>・財務に関する不祥事を防止するためには、定期的な外部監査だけでなく、職員間での日常的なチェック体制の確保を欠かすことはできない。</p> <p>引き続き、各種要領に基づき、徹底した適正管理に取り組んでいきたい。</p> <p>・管理業務仕様書やマニュアルの内容を把握・理解したうえで、要望や苦情に対して適切に対応するとともに、業務改善につなげていただきたい。</p> <p>・苦情等への対応に際しては、速やかな対応に加え、相手方の申出内容・状況などを正しく理解することが重要であり、また、施設側の意図を相手方に伝える際には誤解を与えることのないよう、細心の注意を払った対応を心掛けていただきたい。</p> <p>・セルフモニタリングの一つである利用者アンケートは、施設のより良い管理・運営のため、団体自らの改善点等を発見するために重要であることから、今後とも積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、単年度ごとの評価で終わるのではなく、過年度と比較し、傾向や変化を捉え、より良い施設運営につなげていただきたい。</p>
--	---	--

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 財団諸規則の見直しや、ハラスメント相談窓口を設置するなどし、適正な労働環境の確保に努めている。また、法定労働時間を超えての労働については、36協定を締結し、労働基準監督署に届け出た。 ▼ 札幌市ワーク・ライフ・バランスPlus取組企業認証を受けており、職員のハラスメント防止研修の実施、育児休業の取得促進など雇用環境の向上に努めた。 ▼ 新型コロナウイルス感染症対策として、特別休暇や在宅で可能な業務を設定し、安心して働ける環境をつくり、雇用確保に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止のために研修に参加するなど対応した。 ・所管局による業務検査において、職員の長時間労働に関する指摘を受けたため、今後、業務システムの見直しなどを行い事務作業の軽減を図る予定である。 ・システムを活用した在宅勤務の導入、事務室のパーティション及び消毒薬の設置など新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の職員に係る時間外勤務について、令和4年度業務検査で改善指導を行ったところである。 また、生涯学習センターにおいては、職員により時間外勤務時間数に偏りがあることも認められた。 業務効率の低下防止や職員の健康のためにも、長時間労働の抑制・改善に向けて組織的に取り組んでいきたい。 ・ハラスメントや不祥事の防止など、コンプライアンス遵守に係る取組についても引き続き継続していきたい。 ・在宅勤務制度については、感染症拡大に限らず、他の緊急時などにおいても安定した業務運営の確保に資することから、引き続き柔軟な運用を継続していきたい。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の職員に係る時間外勤務について、令和4年度業務検査で改善指導を行ったところである。 また、生涯学習センターにおいては、職員により時間外勤務時間数に偏りがあることも認められた。 業務効率の低下防止や職員の健康のためにも、長時間労働の抑制・改善に向けて組織的に取り組んでいきたい。 ・ハラスメントや不祥事の防止など、コンプライアンス遵守に係る取組についても引き続き継続していきたい。 ・在宅勤務制度については、感染症拡大に限らず、他の緊急時などにおいても安定した業務運営の確保に資することから、引き続き柔軟な運用を継続していきたい。 			
A	B	C	D								
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の職員に係る時間外勤務について、令和4年度業務検査で改善指導を行ったところである。 また、生涯学習センターにおいては、職員により時間外勤務時間数に偏りがあることも認められた。 業務効率の低下防止や職員の健康のためにも、長時間労働の抑制・改善に向けて組織的に取り組んでいきたい。 ・ハラスメントや不祥事の防止など、コンプライアンス遵守に係る取組についても引き続き継続していきたい。 ・在宅勤務制度については、感染症拡大に限らず、他の緊急時などにおいても安定した業務運営の確保に資することから、引き続き柔軟な運用を継続していきたい。 											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 各関係法令に基づき、施設設備などを良好に維持した。長期的かつ安全な維持管理を行うため、故障や破損の早期発見、初期対応を速やかに行い、被害を最小限に留めた。経年劣化により早期の改修が必要となっている施設構造部分などについては、所管局と連携し、計画的に対応していくよう努めた。 ▼ 事件・事故が発生した場合は、適確に状況を判断し、常に利用者の安全を優先するよう職員の意識を統一した。 ▼ 緊急連絡網により、有事の連絡体制を確保した。 ▼ 損害保険等、必要な保険に加入し、万一の事故に備えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体の不具合等については、早期発見と立入制限等来館者の安全確保のための初期対応を迅速に行った。 ・経年劣化の激しい設備・機器等について、所管局と連携し、計画的に更新・修繕に取り組んだ。 ・利用者の安全や快適な利用のため、貸室内の設備や機器を随時チェックし、整備・修繕に取り組んだ。 ・救急対応等の事件・事故時には、職員・守衛等が連携して対応した。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、様々な内容の対応が求められる中、利用者安全確保や市民サービス向上のために施設の維持管理に取り組んでいることは評価できる。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、様々な内容の対応が求められる中、利用者安全確保や市民サービス向上のために施設の維持管理に取り組んでいることは評価できる。 			
A	B	C	D								
<ul style="list-style-type: none"> ・日々、様々な内容の対応が求められる中、利用者安全確保や市民サービス向上のために施設の維持管理に取り組んでいることは評価できる。 											

<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ 清掃業務</p> <p>清掃員を配置し、開館前及び開館中に巡回清掃することで、常に清潔な施設を維持した。ワックス塗布などの定期清掃も計画的に実施した。</p> <p>▼ 警備業務</p> <p>警備業務実施要領に基づき、専門の警備員を配置し、防災防犯体制を整え、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>▼ 施設維持管理業務</p> <p>施設及び設備の機能が長期にわたって、正常に保たれる点検・保守に努め、故障が発生した場合は、速やかに復旧するよう努めた。</p>	<p>・貸室の稼動状況に合わせ、効率よく清掃業務を遂行することで、施設利用者に快適な利用環境を提供することができた。</p> <p>・周辺施設の利用を目的とした観光客の増に伴い、施設内の人の出入りがここ数年間、継続して増えてきている。施設の周辺環境の変化についても、警備員との情報共有を徹底することで、不審者対応などをスムーズに行うことができた。</p> <p>・開館から20年以上経過し、施設の老朽化に伴う不具合等が発生しており、所管局と連絡をとりながら迅速な復旧を心がけた。</p> <p>・令和3年度の大規模改修により更新された設備にも不具合が発生しており、施工業者や所管局と連絡を取り対応した。</p> <p>・委託業者が定期的に保守点検を行い、毎月会議を行って情報共有した。</p>	<p>・指定管理業務の根幹は、施設・設備等の維持管理である。引き続き、その点を意識しながら、来館者が気持ちよく利用できる施設づくりを続けていただきたい。</p> <p>・引き続き、施設利用者の安全確保に努めていただきたい。</p> <p>・施設の老朽化に伴い、今後もさまざまな不具合等の発生が考えられる。施設管理者においては、故障が発生した場合の事後対応のみならず、「未然に故障を防ぐための維持管理対応」という視点に立ち、引き続き、積極的な対応をお願いしたい。</p>
---	--	--

<p>▼ 修繕</p> <p>施設維持管理業務委託業者と連携をとり、修繕箇所が発生した場合には可能な限り利用者に影響が出ないよう速やかに初期対応をとるよう努めた。</p>	<p>・委託業者との連携を密にし、利用者への影響を最小限にすることを優先し、速やかな修繕対応を行った。</p> <p>また、機器の故障を未然に防ぐための日常点検を随時行った。</p>	<p>・故障等発生の際には、速やかな修繕対応が行われている。</p> <p>・上述のとおり、修繕については、仕様書上、故障発生時のみならず、故障等が発生すると見込まれる場合の実施も要求水準として求めているところである。</p> <p>利用者の利便性と安全性の確保、将来にわたる円滑かつ持続的な施設運営のためには、指定管理者による日常のかつ細やかな修繕の実施が必要不可欠である。</p> <p>引き続き適切な修繕の実施をお願いしたい。</p>
<p>▼ 備品管理</p> <p>日頃から備品の点検・保守に努め、破損・故障等が発生した場合は速やかに復旧するよう努めた。</p>		<p>・積極的に不用備品の洗い出しや廃棄に取り組んでいることを評価したい。</p>
<p>▼ 駐車場管理</p> <p>「生涯学習センター駐車場管理運営業務仕様書」に基づき、駐車場管理業者と協議を行いながら、適切な運営を行った。</p>	<p>・コロナ禍以前と比べて駐車場料金収入が減少している。</p> <p>・光熱費の高騰や人件費の値上げにより管理費が増加する見込みのため、駐車場の現行契約内容や、経費面など詳細を吟味し、再委託業者と協議する。</p>	<p>・今後の駐車場管理委託契約の内容については、問題点や課題を整理したうえで、引き続き、委託業者との協議を進めていただきたい。</p>
<p>▼ 外溝緑地管理</p> <p>再委託業者に対し、随時適切な指導監督、点検確認を行い、美観の保持、利用者の安全を確保し、快適な緑地環境に努めた。</p>	<p>・年間計画どおりに安全確保、美観の保持ができた。</p>	
<p>▽ 防災</p> <p>▼ 利用者の安全を確保するため、防災計画に基づき、災害などの緊急事態に備えた体制作りを行った。</p> <p>▼ 生涯学習総合センター内の4施設合同の防災訓練を定期的実施し、災害時に備えた。令和4年7月、10月、令和5年2月に消防訓練を実施した。</p> <p>▼ 災害時に備え、複合施設内他団体において、夜間緊急連絡網の整備・再確認を行い連携を強化した。</p>	<p>・ホームページを館内に居なくても情報更新できるようにし、緊急時に備えている。</p> <p>・財団の緊急連絡網の他に館内他施設との緊急連絡網も整備し、災害時に備えている。</p>	<p>・複合施設では館内連携が必須であることから、引き続き、連絡体制の確保や連携強化に努めていただきたい。</p>

(4)事業の計画・実施業務	▽ 生涯学習に関する学習機会の提供及び指導者等の人材育成に関する業務		A	B	C	D
	<p>①さっぽろ市民カレッジ</p> <p>▼ 年3期(4～8月、9～12月、1～3月)に分け、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系の3つの系で幅広い年齢層に対応して実施した。 【実績】 受講者3,331名(計画2,713名)201講座(計画239講座)実施</p> <p>▼ 【センター企画講座】 札幌市制100周年を記念し、教育・文化・観光・交通など多様な観点から札幌について学べる講座の実施や特技を生かし社会参加のきっかけづくりを促す講座などを実施した。</p> <p>▼ 【大学との連携事業】 大学と連携し、互いの特性を生かした講座を提供した。 【実績】 札幌市立大学:「小樽の歴史的建造物をたどる」10名</p> <p>▼ 【連携講座】 それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。 【実績】 ・東洋水産(株):「おいしい「めんつゆ」の虎の巻!ダシの秘密」32名 ・雪印メグミルク(株):「牛のお話と牛乳パック工作体験」28名 ・アサヒビール(株):「オリジナルタンブラーを作ろう」12名 ・(株)明治:「チョコレートの世界へようこそ!」25名</p> <p>▼ 【ちえりあ学習ボランティア企画講座】 講座やイベントの企画・運営を行う「ちえりあ学習ボランティア」がアート班、歴史班、社会・環境班、札幌学班、健康班の5つの班に分かれて、それぞれのテーマで15講座実施した。</p>	<p>・コロナ禍においても対面型講座を中心に開講を実施するなど、可能な限り学びを止めることなく柔軟に対応した。</p> <p>・コロナ対策を行い、講師や受講者が安心して参加できる体制を整えて開催することができた。</p> <p>・民間企業などと連携し、それぞれの持つノウハウとネットワークを生かし、多彩な学習機会を提供することができた。</p> <p>・定員を超える申し込みがある講座も多くあり、市民の学習ニーズを捉えた講座の企画・運営を行うことができた。 ・オンライン講座を企画・運営するなど、コロナ禍に対応した講座を実施することができた。</p>				<p>・令和4年度もコロナ禍の影響が続く中で、受講者数を抑制するなど感染防止対策を行いながら、可能な範囲で講座を実施したことは評価したい。 ・今後は、対面での講座とともに、コロナ禍において導入したオンラインを活用した講座の展開にも力を入れ、様々なニーズに応えられるよう学びの機会の拡充に取り組んでいただきたい。</p> <p>・連携先の特性を生かした講座を企画・実施したことは評価したい。 今後は、さらなる連携先の拡大(特に大学)に期待したい。</p> <p>・15講座中11講座で定員を超える申し込みがあり、受講者の学習ニーズに合致した講座を企画・提供したことを評価したい。引き続き、学習成果を生かした社会参加の推進に取り組んでいただきたい。</p>

<p>▼ 【ご近所先生企画講座】 「市民の学び合い」をコンセプトに、市民の学習成果の活用を図りながら、地域における新たな学習コミュニティづくりを進め、生涯学習センターや他の市内20ヶ所で、76講座実施した。</p> <p>▼ 【学社融合講座】 学校教育と社会教育が企画段階から連携(協働)し、市立札幌大通高校において、市民と生徒が共に学ぶ講座を32講座実施した。講座を修了した生徒は、大通高校の卒業に必要な履修単位として認定された。</p>	<p>第3次札幌市生涯学習推進構想の「まちの活力を高めるための学びの推進」「学習成果の発表や学びをきっかけにした交流の場の充実」の実現を目指し、市民が講師(=ご近所先生)となり、自身の知識・特技・経験を生かした講座を市内各地で展開することで、学びを手段とした新たな“縁(=学習縁)”をつくり出すことができた。</p> <p>・学社融合講座として、高校生と市民による異世代間交流の学びを図ることができた。グループワークなどを通じて講座終了後には、高校生と市民との間の親密度が深まった。</p>	<p>・地域の施設を会場として、学びの機会の拡充に取り組んでいることは評価したい。 ・今後は、地域のニーズを踏まえた講座内容を企画するなど、地域の施設で実施することの意義を意識した取組を期待する。 ・申込人数が規定数に達しなかったことにより開講中止となった講座について、要因の分析と対応策の検討に取り組み、開講中止講座数の減少に努めていただきたい。</p> <p>・高校生と市民と一緒に同じ講座を受講するだけでなく、異なる世代が共に学ぶことの意義をより見出せるような講座の企画が増えることを期待したい。</p>
<p>②学習支援者活用推進事業</p> <p>▼ さっぽろ市民カレッジ受講修了者が講師となる講座を設けるなど、様々な形で学んだ成果の活用を促進した。</p> <p>ア 市民講師育成(ご近所先生) ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、講師募集説明会、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会を実施した。また、講師同士が交流・研鑽する「講師交流会」を開催した。 【実績】説明会9回(うちオンライン開催2回)98名 研修会4回52名 交流会1回18名</p>	<p>第3次札幌市生涯学習推進構想の「まちの活力を高めるための学びの推進」「学習成果の発表や学びをきっかけにした交流の場の充実」の実現を目指し、市民が講師(=ご近所先生)となり、自身の知識・特技・経験を生かした講座を市内各地で展開することで、学びを手段とした新たな“縁(=学習縁)”をつくり出すことができた。</p>	<p>・市民講師育成について、育成した講師が将来的には生涯学習センターを介さずとも地域で活躍できるよう、スキームづくりに取り組むことを求める。</p>

<p>イ ちえりあビデオクルー 映像メディア講座受講修了者で結成されたグループの活動として、団体の活動内容を話し合う定例会を実施した。 【実績】登録者21名</p> <p>ウ カメラボランティア 写真の撮影技術や知識を学ぶ講座の修了生がつくるボランティアサークルに活動の場を提供した。また、市民カレッジ「カメラで始めるボランティア活動！」の運営補助を務めてもらった。 【実績】登録者12名</p>	<p>・コロナ禍で活動機会が減少したが、ロビーコンサートなどの撮影など、撮影活動を再開した。</p> <p>・コロナ禍で活動機会が減少したが、学習成果の活用・発表の機会を設けることができた。</p>	<p>・学習支援者活用推進事業については、コーディネートが難しい取組であるにも関わらず、継続的な推進が図られている。 ・今後は、市民カレッジ事業の本来目的として「学習成果の活用」があることから、学んだ成果を生かすための新たなグループの立ち上げ支援についても継続的に努めていきたい。</p>
<p>③生涯学習関連施設職員研修事業</p> <p>▼ 区民センター、地区センターなどの職員を対象に、生涯学習に関する基礎知識と現代の課題であるメンタルヘルスについて学ぶ研修を実施した。 【実績】1回17施設30名</p>	<p>事前に参加施設の要望を聞き取り、対面で実施することにより、参加者同士の交流を図ることもできた。</p>	<p>・地域の生涯学習を推進していくためには、生涯学習センターのみならず、コミュニティ施設等地域の生涯学習関連施設の取組みの充実が欠かせない。その一助として、この研修事業は資質向上とネットワークづくりという重要な役割を担っている。 引き続き、地域全体の生涯学習の促進という意識をもって、研修の内容や実施回数、対象団体などを検討し、取り組んでいきたい。</p>
<p>④生涯学習ボランティア育成事業</p> <p>▼ さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」の活動として、講座企画・運営を話し合う定例会を実施した。 【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者45名</p>	<p>・コロナ禍にあってもオンラインでの打ち合わせや組織活動のDX化の検討を促すなど活発な活動を支援した。 ・遠隔地の講師がZoomを使用して講義をするリモート講座を実施することができた。</p>	<p>・引き続き、登録者同士の交流や研鑽の場を積極的に設け、活躍の機会の拡大につなげていきたい。</p>
<p>⑤職場体験などの受入れ</p> <p>▼ 中学校や高等学校、大学等から、職場体験や社会教育演習の実習などを受入れた。また、行政機関等の視察を受け入れた。 【実績】4校150名、4団体60名 職場体験・インターンシップ 2校135名 大学の社会教育実演等 2校15名 自治体、海外からの視察等 4団体60名</p>	<p>・高等教育機関等と連携し、学生の就業観や就労意欲を高めることができた。 ・学生への指導を通して担当職員のスキル向上に繋げることができた。</p>	<p>・教育機関からの職場体験や実習の依頼については、今後も可能な限り積極的に受け入れていただけるようお願いしたい。</p>

▽ 生涯学習に関する調査、研究、企画立案及び啓発に関すること。

▼ 指定都市を中心に、生涯学習センター、文化ホール、県民会館、科学系博物館などにおけるインターネットを活用した動画配信(オンライン)による学習機会の提供及び教育普及の取り組み状況を把握するとともに、当センターの実施状況と比較し、今後の活用にあつたことについての基礎資料とする調査研究を行った。

なお、依頼施設数は356施設、回答施設は125施設であった。

・多くの施設で動画配信(オンライン)に取り組んでいる中、当センターは動画制作数及び配信の平均再生回数も平均値を大きく超えていたこと、ボランティアの育成においても動画配信を活用するなど、積極的な活用を進めていることがわかった。また、有料の動画配信の際にオンライン決済を取り入れている施設が少ないことがわかるなど、動画配信の取り組みにおける運営の実態と課題を把握することができた。

・オンラインを活用した講座の提供は、コロナ禍だけにとどまらず今後も需要が見込まれるため、有料の動画配信講座の受講者数をどのように増やしていくのかなど、今回の調査研究で得られた課題・検討事項を基に、さらなる展開を期待したい。

▽ 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関すること。

①メディアプラザ運営業務

▼ ア メディアプラザ運営事業

広く学習相談に応じるとともに、市民の調べ学習に役立つ図書資料(約2万5千冊)と音楽資料(CD・約1万2千点)の収集と貸出やレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行うほか、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスに対応した。また、チラシ・パンフレットコーナーにおいても、市内の生涯学習講座や文化事業のチラシ・ポスターを掲示し、市民への情報提供を行った。

さらには、無料Wi-Fi環境を使って、図書資料やご自身のパソコンなどを使って調べてもの学習ができる学びのスペース「ちえブース」の提供を行った。

【実績】来場者数117,017名
利用者数48,237名

(a) 図書閲覧・貸出

利用者の幅広い調べ学習を支援するため、蔵書約2万5千冊を閲覧及び貸出しに供すると共に、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスに対応した。また、図書を活用した生涯学習に取り組むきっかけを作るため、レファレンス業務を行うなど、所蔵資料や職員の専門性を活かした事業を展開した。

【実績】図書・CD貸出数・67,227点

(b) Chie Terrace事業

生涯学習支援スペース「(愛称)Chie Terrace(ちえテラス)」で、「写真で見るとさつぽろ」をテーマにカメラボランティアが撮影した写真を展示した。

【実績】9/17(土)～3/29(水) 40作品

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしつつ、市民の学習活動の支援を行うことができた。
・特設コーナーを設け、話題や季節に沿ったテーマ展示を行い、図書や音楽資料の貸出増進に繋がった。
・1階ロビーにあるギャラリースペースを使った「出張図書館」を行い、メディアプラザの周知を図った。

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館や閲覧席の間引きの影響から、利用者数は減少している。

・飲食物の提供スペースを併設しているため、厳重な感染対策が必要であることから展開できる事業の規模に限界があったが、市民が生涯にわたって学び続けることを支援できるよう、新たな学習環境を創出することができた。

・メディアプラザの運営では、広報をはじめとする取組の工夫に努められている。
・ちえブースについては、更なる利用者数増加を目指し、スペースを有効活用する方策について引き続き検討していきたい。
・図書や音楽資料について、テーマを設けて特設展示を行い貸出増進を図る取り組みについては、今後も積極的に行っていただきたい。
・音楽資料については、特設展示に加えて、イベントや講座などと連動してPRするなど、開架式に変更したことを生かして、さらなる活用促進に取り組んでいただきたい。

イ 学習相談、サークル・講師の紹介
メディアプラザでの学習相談をはじめ、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

【実績】メディアプラザ学習相談：10,907件
ちえりあ市民講師バンク登録者数：185名
サークル登録件数：153件

<メディアプラザ学習相談の内訳>
(1) 講座内容等の問い合わせ件数：128件
(2) 施設の紹介：679件
(3) 講師の紹介・登録：73件
(4) サークルの紹介件数：610件
(5) レファレンス(図書・視聴覚)件数：613件
(6) その他(利用案内など)：1,576件
(7) メディアプラザ以外での学習相談：7,228件

②生涯学習情報誌の発行

- ▼ 行政機関、高等教育機関、カルチャーセンター、NPOなど、市民向けの学習機会を提供している施設の特徴や主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報 大人の学び場MAP」を発行し、市内の公共施設等で配布した。

【実績】2回発行(8月、2月)各3,000部

③子どもの学びガイドの発行

- ▼ 小学校の夏休み前と冬休み前に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、市立小学校の全児童に配布して、児童と保護者に情報提供を行った。

【実績】4回発行 各93,000部

④ホームページの活用

- ▼ ホームページの活用
生涯学習センター事業や講座、施設等に関する情報などをホームページにて発信した。

【実績】ホームページアクセス数：669,549件
メールマガジン配信13回
メールマガジン登録者3,035名

・講座やサークルの紹介、レファレンスなどの件数が大幅に増えたが、市民の求めに応じた相応しい情報を提供することができた。

・市民講師バンクについて、効果的に市民の学習活動に生かしていたため、講師情報の発信や取組みの評価の方法、マッチング件数の確認手法など、利用者の目線に立った事業改善が必要不可欠である。
生涯学習関連施設の職員等、利用の想定される団体へのヒアリングなどを行い、利用しやすい仕組みづくりを進めていきたい。

・市内の主だった学習施設の情報の集約・発信を通して市民の学習活動のきっかけづくりを支援した。
・官民間問わず、広く市内の生涯学習講座情報を掲載した冊子を、計画通り、年2回発行することができた。
・生涯学習センターで行っている情報発信についてを紹介し、メディアプラザの利用促進を図った。

・引き続き、生涯学習の中核施設として、市内で行われている多様な生涯学習情報を収集し、市民が活用しやすい形で提供する工夫をしていきたい。

・小学生向けの生涯学習に関する情報収集及び提供を積極的に行い、学校休業日における児童の自主的な学びを支援することができた。

・Webアクセシビリティを意識しながら更新・管理を行った。
・Webアクセシビリティ試験を行い、AA準拠レベルを維持した。
・貸室の詳細を掲載しより分かりやすい内容にすることができた。
・新型コロナウイルス感染症に係るセンターの対応・運営状況をホームページにて迅速に市民に発信できた。

・ホームページについては、各種学習情報が適切に発信されている。今後は、さらに利用者にとって分かりやすい情報発信方法を研究しながら、適宜、改善を図っていただきたい。

⑤ 生涯学習センター広報誌の発行

- ▼ 生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し市内の公共施設を中心に配布した。また、LINE公式アカウントを活用し、広報誌を配信した。

【実績】

4回発行 各回：9,000部
LINE公式アカウント友達登録者数：839名

・外出先でも情報を見られるように広報誌のサイズを小さくし、効果的な広報活動を図った。
・事業協力者へのインタビューを通じて、生涯学習への関わり方や楽しみ方を紹介した。

・緊急性の高い情報を即時に利用者に伝達できることは、利用者の利便性や満足度にも寄与するため、LINE以外のSNSの利用も検討するなど、引き続き、利用者の立場に立った情報発信を行っていただきたい。

▽ 生涯学習に関する事業を行う団体との連携及び交流の支援に関すること。

① 連携講座の実施

- ▼ 札幌市立大学との連携については、大学が持っている専門性を市民にわかりやすく提供することを目的に、歴史建造物に関する講座などを実施した。

【実績】札幌市立大学：2講座受講者10名

・札幌市立大学との連携については、大学が持っている専門性を十分に生かすことで、市民の多様なニーズに対応する講座を実施した。

・連携事業を通して培ったネットワークを地域に還元していくためには、生涯学習センターが「仲介役」としての役割を果たすための相談機能の充実が求められる。その点を意識した体制の在り方、機能の拡充について、検討を進めていただきたい。

② 市立札幌大通高校との学社融合講座の実施

- ▼ さっぽろ市民カレッジの一部講座を校舎内で実施し、市民と高校生が共に学ぶ新たな学びの場を創出した。

【実績】32講座657名

・学社融合講座では、現地学習やグループワーク等を通して、高校生と一般市民の学びの交流を一層深めることができた。

③ 民間企業との連携講座の実施(再掲)

- ▼ 各企業と連携した講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。

【実績】

・東洋水産(株)：「おいしい「めんつゆ」の虎の巻！ダシの秘密」32名
・雪印メグミルク(株)：「牛のお話と牛乳パック工作体験」28名
・アサヒビール(株)：「オリジナルタンブラーを作ろう」12名
・(株)明治：「チョコレートの世界へようこそ！」25名

・民間企業と連携し、企業の特徴を生かした講座を実施したことで、講座内容の充実を図ることができた。また、企業の社会貢献活動の支援を行うことができた。

▽ 生涯学習に関する市民の自主活動及び交流の支援業務

①ちえりあフェスティバル

- ▼ ちえりあの開館(平成12年8月)を記念して、館内の4施設(生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、札幌市教育センター、リサイクルプラザ宮の沢)が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行った。
【実績】3,335名(1日間)

・幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図ることができた。
・西区区制50周年の記念事業と同時開催し、西区の環境キャラクター「さんかくやまべ」とコラボしたイベントなどを実施するなど新しい取り組みを行うことができた。

・西区役所とのコラボレーションを行ったことは、新たな事業展開として評価できる。
・今後は、館内でのイベントに加え、例えば広場におけるキッチンカーやブースを増やすなど、さらなる賑わいづくりを行い、生涯学習の普及啓発につなげていただきたい。

②ちえりあロビーコンサート

- ▼ 市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらう機会を提供した。
【実績】7回(7団体出演)512名

・様々なジャンルの音楽を楽しむ機会を提供しており、リピーターも多く市民の音楽鑑賞の場として定着している。
・コロナ禍で発表機会が限られていた演奏者に、活動成果の発表の場を提供することができた。

・定期的開催し、観客のリピーターも獲得していることは評価したい。引き続き、市民の活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に生演奏を聴くことができる機会を提供していただきたい。

③サークル発表会

- ▼ ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体に学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることができた。
【実績】
(展示部門) 参加16団体(6日間)
(舞踊部門) 出演31団体(5日間)来場者530名

・コロナ禍の影響で約3年ぶりの開催となった。
・学習成果の発表の場として、サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、市民への鑑賞の場を設けることで、サークル活動や学習活動に対する興味・関心を高め、生涯学習に携わるきっかけづくりに繋げることができた。

・引き続き、市民の活動の発表の場を提供し、活動の活性化につなげていただきたい。

▽ 学習成果の発表及び鑑賞の支援に関すること。

①ちえりあフェスティバル(再掲)

- ▼ ちえりあの開館(平成12年8月)を記念して、館内の4施設(生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、札幌市教育センター、リサイクルプラザ宮の沢)が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行った。
【実績】3,335名(1日間)

②サークル発表会(再掲)

- ▼ ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体に学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることができた。

【実績】

(展示部門) 参加16団体(6日間)
(舞踊部門) 出演31団体(5日間)来場者530名

▽ 生涯学習センターの施設の使用に供すること。

①貸室事業

- ▼ 市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。

・鍵とともに貸室までの案内図や利用案内を渡すなど、分かりやすい貸室運営を心がけた。
・貸室の案内にホームページを活用し、利用者の利便性向上に努めた。

・引き続き、利用者サービスの向上に向けて、日々、取組の見直しを積み重ねていきたい。
・ホームページにおける貸室の案内について、必要な情報の調べやすさという点で改善が必要と思われるため、引き続き、掲載内容等を検討していきたい。

②施設の有効活用

- ▼ ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

【実績】市民貸し出し10件、センター事業4件

・学習成果発表の場となっているとともに、施設内の賑わいに繋がっている。
・作品発表の場として好評を得ている。

・ロビースペース等の賑わいを創出するため、センター主催のイベントを積極的に企画するなど、自主事業での新たな有効活用を期待したい。

▽ その他生涯学習センターの設置目的を達成するために必要な事業

①カルチャーナイト

- ▼ 夜間、公共施設などを開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に動画配信にて参加した。

【実績】

「市立札幌平岸高等学校デザインアートコースといっしょにつくろう」参加者90名

・市立札幌平岸高等学校の生徒に開講準備や運営補助で参加してもらうことで、これからの地域文化を担う学生の育成を図ることができた。

	<p>②ちえりあ映画会</p> <p>▼ 映画に親しむ機会を提供するため、生涯学習センター等が所蔵する多様な映像教材をちえりあホールで上映した。邦画では、ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、目の不自由な人も鑑賞できるよう副音声ガイドサービスを実施した。また春休み期間には、親子で楽しめる作品を上映した。</p> <p>【実績】3回267名 「ケアニン ～あなたでよかった～」166名 「若草物語」77名 「うごくえほんチルビー 6作品」24名</p> <p>③ちえりあCDコンサート</p> <p>▼ 生涯学習センター所蔵の音響機器と視聴覚資料を活用し、良質な音響環境で名演奏に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出しCDの利用促進を図った。</p> <p>【実績】6回59名 5/18 交響曲 第5番 ハ短調 作品67 《運命》 5名 7/20 Sounds of Silence (サウンド・オブ・サイレンス) 13名 9/21 A Midsummer Night's Dream (真夏の夜の夢) 作品61 8名 11/30 NIGHT IN TUNISIA (チュニジアの夜) 14名 1/18 R.シュトラウス作曲: 交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」作品30 7名 3/15 プラームス作曲: 交響曲 第1番 ハ短調 作品68 12名</p> <p>③北海道吹奏楽フェスティバル</p> <p>▼ 異世代の交流と教育プログラムの実践をメインに、プロ講師やアマチュア演奏家と中学生や高校生が合奏しながら音楽を楽しむコンサートを開催し、吹奏楽活動の支援と普及を図った。</p> <p>【実績】参加校8校1団体 3公演749名</p>	<p>・感染症対策の観点から事前配布の整理券制を導入したところ、入場時の混雑や密を回避することができた。</p> <p>・これまで満席となることが多かった事業だが、もっとも来場者が多かった邦画でも166名と定員の半数に満たなかった。</p> <p>・使用予定機材の故障により来場者の求める音響環境での開催が難しいことから隔月開催に変更して実施した。</p> <p>・これまで実施したCDコンサートを紹介する特集棚をメディアプラザに設けることで、この特集棚のCDが頻繁に貸出しされ、利用増に繋げることができた。</p> <p>・来場者のアンケート結果から、これまででもっとも高い満足度を得ることができた。</p> <p>障がいがある子どもたちが出演したり、演奏中の出入りを自由にするなど、障がいのある人も一緒に楽しめる公演を盛り込んだ。</p> <p>・チケットは、紙と電子の2種類で販売したが、スムーズに入場することができた。</p>	<p>・イベントと連動させてCDの貸出し増進につなげたことは評価したい。他の事業においても、各事業を相互に連動させて、センター全体としての利用促進・満足度向上につながるような取組を期待したい。</p>								
(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等 別添のとおり</p> <p>▽ 不承認0件、取消し153件、減免1,195件、還付206件(変更による還付含む)</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 丁寧な対応で、できる限り利用者のニーズに沿うよう貸室提案をした。</p> <p>▼ 新型コロナウイルスの影響により、還付件数が増えた。</p>	<p>・利用者への配布物に鍵だけではなく案内図や注意事項を一緒に渡すなど、市民がより利用しやすい施設運営を行った。</p> <p>・掲示物や受付時の確認による利用者への注意喚起や、窓口のバーテーション設置、備品類の消毒など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・感染対策を講じながら貸室事業を行ったこと、また、感染症によるキャンセルや還付対応に適切に対応したことは評価したい。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

(6)付随業務		A	B	C	D
▼ 広報業務 ▼ 生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し市内の公共施設を中心に配布した。また、LINE公式アカウントを活用し、広報誌を配信した。 【実績】 4回発行 各回:9,000部 LINE公式アカウント友達登録者数:839名 ▼ ホームページの活用(再掲) 生涯学習センター事業や講座、施設等に関する情報などをホームページにて発信した。 【実績】 ホームページアクセス数:669,549件 メールマガジン配信13回 メールマガジン登録者3,035名 ▼ 引継ぎ業務 ▼ 継続して指定管理業務を行っているため、引継ぎは発生していない。	・Webアクセシビリティを意識しながら更新・管理を行った。 ・Webアクセシビリティ試験を行い、AA準拠レベルを維持した。 ・貸室の詳細を掲載しより分かりやすい内容にすることができた。 ・新型コロナウイルス感染症に係るセンターの対応・運営状況をホームページにて迅速に市民に発信できた。	・公の施設がその設置目的を果たすためには、市民への適切な情報提供が必要不可欠である。 ホームページについては、掲載内容をはじめ、改善の必要があると思われることから、引き続き、利用者の立場にたって内容の見直しに取り組んでいただきたい。			
2 自主事業その他					
▼ 自主事業 ▼ 収益事業 ①レストラン事業 ▼ ちえテラスに隣接したスペースにおいてカフェを運営し、来館者へ飲食物等を提供した。 売上手数料収入1,325千円 ②自動販売機事業 ▼ 売上高2,172,600千円(計画 3,357,000千円) ▼ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼ 委託業務、物品の購入などは、市内の企業に発注を心がけた。 ▼ 障害者雇用(令和4年度 1名)	・サークル活動の後に打合せや調べ物をするなど幅広い用途で利用されており、来館者の生涯学習活動に対する補完的な空間づくりやリラックスできる居場所づくりをすることができた。 ・新型コロナウイルス規制緩和により利用率が回復したが、当初の計画には至らなかった。 ・委託、物品の発注等は、市内企業を積極的に活用することができた。	・利用者の利便性向上に資する取組として評価したい。 ・自主事業については、サービスの向上と収益性の両面を見据えた事業展開を期待したい。 ・現在行っている自主事業のほか、例えば、ちえりあホールにおける単回線サービスなど、利用者のさらなる利便性向上に向けた新たな取組の検討についても期待したい。			

3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果					
実施方法	貸室利用者アンケートは利用ごとに記述式のアンケートを回収。メディアプラザ利用者、講座受講者、期間中の主催事業参加者を対象に記述式のアンケートを実施。 (期間: 令和4年4月1日～令和4年12月28日)		<p>・貸室利用者と事業利用者それぞれにアンケートを取り、集計して掲示した。アンケート結果は職員内でも周知し、より良い施設運営に役立てた。</p> <p>・頂いたご意見に、迅速に回答した。 ・物品や機器の更新などは所管局に随時更新依頼をかけた。</p>		
結果概要	<p>センター事務室にて、アンケートの集計結果や寄せられた意見及び回答を掲示した。</p> <p>●職員の接遇 【貸室利用者】大変良かった:61.1% まあ良かった:32.3% 普通:6.6% あまりよくなかった:0.0% 悪かった:0.0% 【事業参加者】大変良かった:57.2% まあ良かった:33.5% 普通:8.5% あまりよくなかった:0.4% 悪かった:0.4%</p> <p>●総合満足度 【貸室利用者】とても満足:52.7% まあ満足:42.9% 普通:4.1% 少し不満:0.3% 不満:0.0% 【事業参加者】とても満足:44.7% まあ満足:45.1% 普通:8.5% 少し不満:1.7% 不満:0.0%</p>				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>・交流学习コーナーの座席がコロナ対策で減っているので増やしてほしいという意見に対し、感染状況を踏まえながら、段階的に座席を増やした。</p> <p>・貸ロッカー使用料について、毎月ではなくまとめて支払いたいという要望に対し、令和5年度から、年度内のものをまとめて支払えるようにした。</p>				
4 収支状況					
▽ 収支 (千円)					
	項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)	<p>・新型コロナウイルス規制緩和に伴い、コロナ禍前の利用率に戻りつつあることから、施設利用料返金が減少した。</p> <p>・その他の収入が減少した要因として、各講座の定員数を大幅に減少させたことが原因である。</p> <p>・当初の計画には至らなかったが、下半期の利用者数は回復傾向にある。</p> <p>・改修工事により更新された空調設備の運用方法が定まっておらず、見直しを進めている最中であるが、社会情勢の変化により、電気・ガスの料金単価が高騰し、光熱費の支出が増加した。</p>
収入		439,480,000	474,008,798	34,528,798	
	指定管理業務収入	435,103,000	470,511,378	35,408,378	
	指定管理費	353,000,000	388,232,799	35,232,799	
	利用料金	71,005,000	71,282,287	277,287	
	その他	11,098,000	10,996,292	▲ 101,708	
	受取補償金	0	0	0	
	自主事業収入	4,377,000	3,497,420	▲ 879,580	
支出		472,510,000	491,212,306	18,702,306	
	指定管理業務支出	468,877,000	487,598,386	18,721,386	
	自主事業支出	3,633,000	3,613,920	▲ 19,080	
	収入-支出	▲ 33,030,000	▲ 17,203,508	15,826,492	
	利益還元	0	0	0	
	法人税等	35,000	172,950	137,950	
	純利益	▲ 33,065,000	▲ 17,376,458	15,688,542	
▽ 説明					
<p>▼ 利用料金収入とは、施設利用料や物件使用料、駐車場利用料などである。新型コロナウイルス規制緩和に伴い、277,287千円の増であった。</p> <p>▼ その他収入とは、さっぽろ市民カレッジ受講料が主なものであり、新型コロナウイルス感染症による、開講中止や定員の減数などから101,708千円の減であった。</p> <p>▼ 自主事業収入は、自動販売機、飲食店の売上手数料、受託事業収入などである。新型コロナウイルス感染症の影響により、館内の利用者数が減少し、売り上げも減少した。</p>					

<確認項目> ※評価項目ではありません。				
▼ 安定経営能力の維持 ▼ 公益財団法人として求められる水準を満たすため、主たる事業である公益目的事業において利益を得ることはできていないが、貸室の利用率やさっぽろ市民カレッジの受講者数などは一定の水準を保っている。		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">適</td> <td>不適</td> </tr> </table>	適	不適
適	不適			
▼ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 札幌市個人情報保護条例の趣旨に則り「公益財団法人札幌市生涯学習振興財団が保有する個人情報の保護に関する規定」及び「個人情報の取扱いについて」を制定し、個人情報を適正に管理した。 ▼ 管理サイト全体の暗号化、個人情報パスワード保護に加えチェック体制の強化に努めている。 ▼ 主な個人情報について、紙媒体は鍵付きキャビネットで、電子データはパスワード管理にて、厳格な保守管理の下、適正に取扱っている。 ▼ 情報公開については、ホームページ上で個人情報の取扱いについて、基準及び規程を公開している。 ▼ 財団の定款、役員名簿、事業計画、事業報告、財務諸表等をホームページで公開しており、センターの運営状況の積極的な情報開示を行っている。 ▼ 受託者やその他契約の相手方について、「札幌市暴力団の排除の推進に関する条例」と「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」に基づき、暴力団を排除している。		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">適</td> <td>不適</td> </tr> </table>	適	不適
適	不適			

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系を合わせて201講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。ご近所先生企画講座は、区民センターや地区センター、図書館と連携し、全市的に展開した。さっぽろ市民カレッジでは、市制100周年を記念した講演会やZoomを活用したオンライン講座を企画・実施し、多様な学びの場の整備に向けて積極的な取り組みを行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・集合型の講座に加え、オンライン講座。対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の講座など、引き続き提供方法の多様化を図る。 ・コロナ禍から実施を中止していた連携事業の再開を含め、企業、大学などとの連携を深める。
メディアプラザにおいては、小学校の自由研究に関する資料の展示や、音楽資料を活かした特集を行い所蔵資料の利用促進を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数はコロナ禍前までは回復していない。リニューアルしたちえりあスペースの活用や、学習相談の認知度を上げるための広報活動などにより、利用率の向上を図る。
貸室事業については、10月までは新型コロナウイルス感染症を理由にキャンセルする団体が多かったが、11月以降は比較的キャンセルが少なくなっていた。陶芸室の利用団体からの要望で、陶芸室の運用方法を所管局と協議し、利用者が利用しやすい環境づくりに努めた。映像スタジオのクロマキーシートの単独料金を設定して、利用者ニーズに合うように努めた。印刷編集室についても料金を見直した。	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務の改善として、一斉受付の方法を見直し、利用率促進に向けて所管局と検討していく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で休止していたホームページでの空き室検索を再開させ、利用率向上に向けた取り組みを行っていく。 ・一昨年改修工事が行われたが、建物から設備機器類まで、改修・更新が必要なものが残っている。利用者の利便性を損なわないように所管局と協議しながら、計画性を持って早期に改修・更新に着手していきたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進む中、入居する4団体を統括する立場として施設全体の維持管理を務めていることを評価したい。 ・コロナ禍の影響が続き、ソフト事業をはじめ事業全体が規模縮小を余儀なくされた状況において、仕様書に定める要求水準を達成したことについて評価したい。 ・貸室の運用について、利用者の視点に立った運用方法の変更・改善に取り組んだことを評価したい。今後も、積極的に利用者の利便性向上に資する取り組みを行っていただき、必要があれば随時所管局にご相談いただきたい。 ・引き続き、本市の生涯学習振興の中核施設として、機能の拡充・強化を目指した事業展開を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の時間外労働をはじめ、関係法令の遵守を徹底したうえ、業務を遂行していただきたい。 ・利用者の利便性向上のための業務見直しは、適宜行っていただきたい。 生涯学習センターのホームページについては、見やすさ・欲しい情報の調べやすさという点において改善が必要であり、これまでも検討を求めてきたところである。ホームページの利便性が向上することにより新規利用者の増加も期待できることから、重きを置いて取り組んでいただきたい。 また、兼ねてから貴団体が課題として挙げていた「貸室の一斉受付」等についても、引き続きご検討いただきたい。なお、検討にあたっては、所管局に対し適宜情報共有や必要な手続等を確認すること。 ・施設の管理運営においては、必要最小限の経費で最大の効果を発揮できるよう、限られた予算の中で何に予算を投入すべきか優先順位を決めながら対応していくことが求められる。 新たな設備や備品等の導入にあたっては、指定管理者においてもその点を十分に意識したうえで導入の必要性を検討していただきたい。また、導入した設備・備品等については、積極的な活用をお願いしたい。

▽ 生涯学習センター貸室別利用件数等

		R2実績	R3実績	R4計画	R4実績
ホール	件数(件)	205	59	84	556
	人数(人)	29,940	9,839	13,956	117,903
	稼働率(%)	35.0	50.9	72.2	71.5
音楽スタジオ1 (副調整室)	件数(件)	259	63	83	521
	人数(人)	1,528	402	531	3,403
	稼働率(%)	60.7	70.2	92.7	78.7
音楽スタジオ2	件数(件)	265	58	92	651
	人数(人)	1,812	377	597	4,301
	稼働率(%)	61.1	61.4	97.2	92.5
演劇スタジオ1	件数(件)	389	59	90	594
	人数(人)	7,624	1,073	1,638	10,426
	稼働率(%)	76.7	63.2	96.5	91.4
演劇スタジオ2	件数(件)	412	72	88	706
	人数(人)	4,286	888	1,091	7,841
	稼働率(%)	84.1	78.9	96.9	95.1
サークル 活動室1	件数(件)	583	92	103	702
	人数(人)	4,221	756	847	5,742
	稼働率(%)	92.2	87.7	98.2	92.2
サークル 活動室2	件数(件)	480	87	103	626
	人数(人)	3,859	891	1,060	6,077
	稼働率(%)	85.6	80.7	96.0	86.5
サークル 活動室3	件数(件)	364	66	92	532
	人数(人)	3,028	617	856	5,366
	稼働率(%)	76.7	64.9	90.0	81.0
サークル 活動室4	件数(件)	371	48	64	437
	人数(人)	4,108	584	783	5,904
	稼働率(%)	80.4	66.7	89.4	74.4
サークル 活動室5	件数(件)	357	66	93	494
	人数(人)	3,925	806	1,138	6,305
	稼働率(%)	68.5	61.4	86.7	75.5
大研修室	件数(件)	242	44	68	425
	人数(人)	10,729	1,990	3,094	24,251
	稼働率(%)	55.6	45.6	70.9	66.3
中研修室1	件数(件)	237	34	80	457
	人数(人)	6,343	1,016	2,376	18,030
	稼働率(%)	54.1	31.6	73.9	64.6
中研修室2	件数(件)	243	32	98	465
	人数(人)	6,046	932	2,849	16,968
	稼働率(%)	57.4	28.1	85.9	68.6

		R2実績	R3実績	R4計画	R4実績
研修室1	件数(件)	399	51	85	491
	人数(人)	3,547	572	955	5,839
	稼働率(%)	80.0	56.1	93.7	76.4
研修室2	件数(件)	392	46	86	440
	人数(人)	4,994	880	1,644	8,785
	稼働率(%)	74.4	45.6	85.2	64.0
研修室3	件数(件)	294	34	82	297
	人数(人)	3,047	415	1,004	3,753
	稼働率(%)	63.7	33.3	80.6	48.4
研修室4	件数(件)	262	28	88	255
	人数(人)	2,630	292	919	3,097
	稼働率(%)	58.9	24.6	77.4	44.4
研修室5	件数(件)	270	38	73	398
	人数(人)	5,092	733	1,406	9,694
	稼働率(%)	56.7	43.9	84.2	64.0
研修室6	件数(件)	289	43	72	370
	人数(人)	5,240	832	1,388	9,225
	稼働率(%)	60.7	49.1	81.9	63.4
コンピュータ 研修室	件数(件)	71	4	55	136
	人数(人)	861	120	1,656	2,643
	稼働率(%)	21.5	3.5	48.3	25.1
アトリエ	件数(件)	138	14	43	188
	人数(人)	1,540	124	377	2,828
	稼働率(%)	31.9	22.8	69.4	39.5
陶芸室	件数(件)	161	12	30	238
	人数(人)	1,481	198	492	3,143
	稼働率(%)	52.2	21.1	52.4	47.6
映像スタジオ	件数(件)	295	30	65	413
	人数(人)	5,345	527	1,134	9,605
	稼働率(%)	62.2	35.1	75.5	68.0
講堂	件数(件)	274	44	64	443
	人数(人)	22,058	3,414	4,999	49,634
	稼働率(%)	54.1	47.4	69.4	69.5
和室・茶室	件数(件)	214	25	46	255
	人数(人)	1,545	142	259	1,661
	稼働率(%)	50.7	33.3	60.8	51.3
全体	件数(件)	7,466	1,149	1,927	11,090
	人数(人)	144,829	28,420	47,661	342,424
	稼働率(%)	62.3	48.3	81.0	68.0

令和4年度 研修会等案内及び参加一覧

(公財)札幌市生涯学習振興財団

	研修会等名	主催団体	日程	会場	参加者	区分	
						指定管理	内容
1	生涯学習センター新採用職員研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	4/1(金) 4/4(月)~5 (火)	生涯学習センター 青少年科学館	新採用正職員1名	A	接遇・接客 労務 業務知識
2	生涯学習センター新採用職員研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	4/1(金)	生涯学習センター	新採用契約職員2名	A	接遇・接客 労務 業務知識
3	令和4年度全国生涯学習センター等研究 交流会	国立教育政策研究所	5/26(木)	オンライン	正職員2名	C	業務知識
4	第73回北日本図書館大会北海道大会・ 第62回北海道図書館大会(オンライン)	北海道図書館連絡会 議事事務局	6/8(水)	オンライン	正職員2名、契約職員8名	I	業務知識
5	令和4年度第1回ホール連絡協議会	ホール連絡協議会	6/10(金)	共済ホール	正職員1名	T	業務知識
6	生涯学習センター新採用職員研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	7/1(金)	生涯学習センター	新採用契約職員1名	A	接遇・接客 労務 業務知識
7	公益法人会計 初級	満喜株式会社	7/6(水)	かでの2, 7	正職員1名	J	会計・経理
8	昇任時研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	7/6(水)	生涯学習センター	正職員3名	C	業務知識
9	新採用研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	7/6(水)	生涯学習センター	正職員3名	C	業務知識
10	防火・防災管理再講習	(公財)札幌市防災協会	9/13(火)	北海道自治労会館	嘱託職員1名	M	防火・防災
11	新採用研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	10/3(月)	生涯学習センター	契約職員1名	C	業務知識
12	令和4年度救命講習会	札幌防火管理者協会	10/21(金)	ホテルエミシア札幌	正職員2名	M	防火・防災
13	自衛消防再講習	(公財)札幌市防災協会	10/25(火)	北海道自治労会館	嘱託職員1名	M	防火・防災
14	新採用研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	11/1(火)	生涯学習センター	契約職員1名	C	業務知識
15	舞台芸術ネットワーク会議	(公財)北海道文化財団	11/25(金)	かでの2, 7	正職員2名	I	業務知識
16	令和4年度コンプライアンス・ハラスメント 研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	11/29(火)~ 30(水)	生涯学習センター	40名	Q	コンプライ アンス
17	自衛消防業務新規講習	(公財)札幌市防災協会	12/15(木)~ 16(金)	北海道自治労会館	正職員1名	M	防火・防災
18	自衛消防再講習	(公財)札幌市防災協会	12/22(木)	北海道自治労会館	正職員1名	M	防火・防災
19	全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修 会	文化庁 (公社)全国公立文化 施設協会	1/11(水) ~2/28(火)	オンライン	正職員1名	I	業務知識
20	令和4年度課長職マネジメント研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	1/25(水)	生涯学習センター	正職員2名	I	業務知識
21	令和4年度札幌市公式ホームページ担当 者レベルアップ研修	札幌市総務局広報部 広報課	2/8(水)	生涯学習センター	正職員1名	I	業務知識
22	令和4年度(2022年度)地域生涯学習活 動実践交流セミナー	北海道立生涯学習推 進センター他	2/9(木)~ 10(金)	かでの2, 7	正職員1名	I	業務知識
23	自衛消防再講習	(公財)札幌市防災協会	2/22(水)	北海道自治労会館	正職員1名	M	防火・防災
24	令和4年度情報セキュリティ研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	2/22(水)24 (金)	生涯学習センター	40名	I	業務知識
25	令和4年度生涯学習関連施設職員研修	札幌市生涯学習セン ター	2/27(月)	生涯学習センター	正職員3名	I	業務知識